

製本作業に使う道具と材料

紙折り機 竹べら 製本台 目打ちたたき棒 カッターナイフ 定規
木工ボンド ピットのり 寒冷紗 鉛筆 雑紙 ティッシュペーパー
用紙 本文 (55Kg) 見返し (110Kg) 表紙 (110Kg)

製本手順

紙折り作業

B5版教科書の場合 B4横を谷折りする 用紙はY(横)目を使用
紙折り器を使用する(折り目をきれいにすると出来上がりも美しい)

竹べらなどで折り目をしっかりつける

ページ確認 ページ順序, 逆さなどをチェックする

分冊ごとに束ねる(紙バンド等) 重しをしておくが良い

背固め作業

製本台に小口側を挟み, たたき棒などで天地, 背, 小口を揃える

製本台の止めねじをしっかりと締める

ピットのりを背側1センチくらいに塗り次の紙で押さえつける

(シワなしPITは色にじみすることがあるので注意)

製本台から1センチくらい出し固定

背にボンドを塗る(均一に) ビニダインでも良い

寒冷紗を貼り両側から押さえしておく

製本台に背の部分を挟み固定しておく(のりが固まるまで待つ)

寒冷紗の後処理(ひらひらをのり付け)

小口貼り作業

製本台に背の部分を挟み, ピットのり(消えいろPIT)で1センチくらい塗り, 貼り付ける

表紙つけ(くるみ製本の場合)

分冊の厚さに合わせ折り目をつけておく

背と背から5ミリにはのりをつけない(ページ開きをよくするため)

のりは15ミリ幅

表紙の小口にはみ出した部分を切る

くるみ 製本の仕方

1. 背固め, 小口貼り・・・今までと同じ
2. 寒冷紗は粗目を外側にしボンドでしっかりのり貼りをする
背ののりが乾くまで本は開かない
3. 表紙は折り目をつけ, 図-1のように製本台に固定する
4. 背と背から5mmは絶対にのりはつけない
スッテイクのり または ボンド
5. のりが乾かないうちに表紙を押さえる
6. 表表紙, 裏表紙 同じように貼り付ける
7. 乾くまで重しをして固定するとよい
8. 背から5mmにへらですじを入れる (図-2)
背表紙が箱型に開く (完成図)

図-1

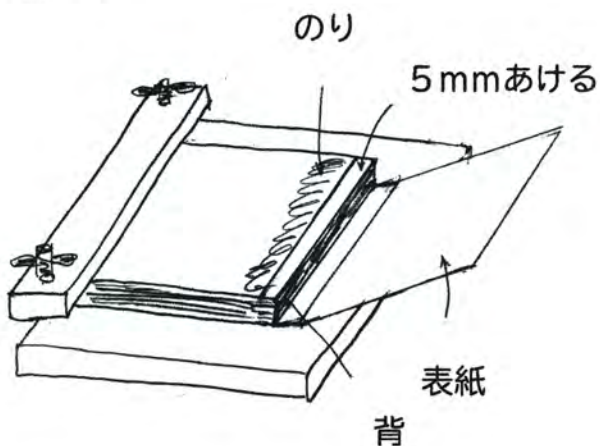
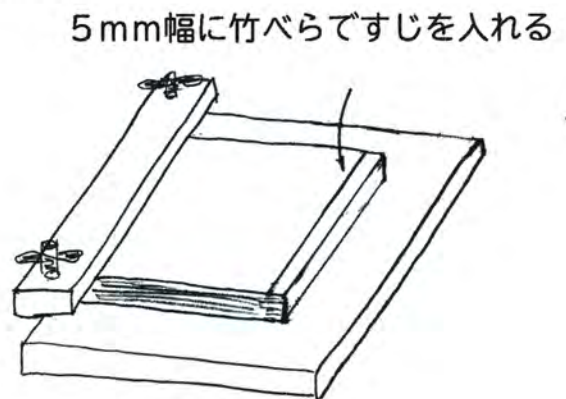


図-2



完成図

